

飯盛物語 2



学校教育目標

「命をだいに 人をだいに 自然をだいに美しく」

～やる気(心) 思いやりの心 たくましい心の育成～

飯盛中テーマ「自立 創造 貢献」

R6年度の合言葉「日々前進！」

～昨日の自分よりもさらに一步前へ！～

第13話 令和6年10月17日発行

校長 池田英二

今回の飯盛物語2第13話では、先日実施した2年生の修学旅行の様についてお知らせいたします。今飯盛中では、10月25日(金)におこなわれるビッグイベントの合唱コンクールと飯盛地区小中音楽会に向けて一生懸命練習に取り組んでいるところです。ご来賓の皆様、保護者の皆様方に素晴らしいハーモニーを披露することができるように頑張りたいと思います。

10月9日(水)～11日(金)2年生修学旅行(In 大阪・京都)

2年生が楽しみにしていた2泊3日の修学旅行が終わりました。1日目には、バスで飯盛を出発して、博多駅に向かいました。バスの中では、レク係の久保君が中心になって上手にレクレーションを盛り上げてくれました。博多駅から新神戸駅までは、新幹線での移動でした。新幹線に乗るのが初めての子どもたちもいてとても嬉しそうでした。神戸にある「人と防災未来センター」では、阪神・淡路大震災の展示資料や当時の映像を見ることができました。

その後、大阪城の見学に向かい、天守閣から大阪の街並みを一望することができました。そして大阪のホテル「アウィーナ大阪」にチェックインして入浴・夕食を済ませて班長会、班会を終えて1日目の行程が終了しました。

2日目は、班別自主研修で、京都市内巡りを行いました。集合場所の東寺の集合時刻17:00に1人も遅れることなく集まることができ大変立派でした。それから徒歩で移動して「京都プラザホテル近鉄十条」に宿泊しました。

3日目には、京都の「みやこめっせ」に行き班活動を楽しみに行い京都型友禅体験でエコバッグを制作していました。帰りは京都駅から博多駅まで新幹線に乗り、博多駅からはバスで移動しました。途中、大村湾SAで解団式を行い飯盛中に帰ってきました。最終日の解団式でも子どもたちにお伝えしましたが、この3日間の修学旅行で、2年生の素晴らしかったことが2つありました。1つ目は、最後まできちんと人の話を聴くことができたということです。2つ目は時間を守ることができたことです。大変すばらしかったです。

今回の修学旅行は、大阪・京都を訪問したのですが、実際に行ってみると、知らないことが多く、とても勉強になることが多かったです。保護者の皆さん、初日の早朝からのお見送り、最終日には、お出迎えに来ていただき本当にありがとうございました。幸いに3日間ともお天気にも恵まれ、怪我や事故や病気もなく、2年生にとって、色々な得難い体験ができ、充実した修学旅行になりました。ご協力大変ありがとうございました。



【新幹線で博多駅を出発】



【京都班別自主研修】



【平安神宮にて】

ちょっといい話 「一人ひとりが一隅を照らす人に」



日本における天台宗の開祖・最澄が著した「山家学生式」に「一隅を照らす、これ即ち国宝なり」という言葉があります。自分が置かれた場所で精一杯の努力をして光り輝き、周囲を明るく照らす人こそ、何物にも代えがたい国の宝である ということです。私たち一人ひとりが身近なところから温かい心を発揮して一隅を照らす実践を続けて行ったら、やがて社会全体が温かい心で満たされていくのでしょうか。たとえ自分の力の及ぶ範囲は限られていたとしても、一人ひとりがそうした生き方を心がけていってこそ、安心のある社会が実現することになるのではないのでしょうか。